

# 高松市で基礎から学ぶ「IoT入門セミナー in かがわ」を開催

## 《IoTの基礎知識を分かりやすく解説し、IoT導入手順を紹介》

四国総合通信局(局長:川村 一郎)は、情報通信交流館(館長:長谷川 辰也)とともに、令和元年10月17日(木)、情報通信交流館(e-とぴあ・かがわ)において、NTTラーニングシステムズ株式会社コンサルティングパートナーの常川 朋之氏を講師として、『基礎から学ぶ「IoT入門セミナー in かがわ」』を開催しました。

このセミナーは、IoTを活用できる人材を育成することを目的とした、総務省の「IoT機器等の電波利用システムの適正利用のためのICT人材育成事業」※の一環として、かがわ情報化推進協議会及び四国情報通信懇談会との共催により開催したもので、製造業や情報通信サービス業などから30名の参加がありました。

第1部では、IoTの基礎知識として、センサーやカメラなどで自動的に収集したデータを、大容量のクラウドサービスで蓄積し、大量のデータをAI等で分析することにより、業務の現状や課題が把握でき、既存業務の改善や生産性の向上、コスト削減につながるとの説明がありました。

また、IoTの導入・利活用の例として、農場のデータを各種センサーやカメラから自動で収集・分析することで、適切なタイミングでの散水や肥料・農薬散布を実現した例や、製造機械の状態を各種センサーにより自動で収集・分析することで、故障予知・生産性向上を実現した例などが紹介されました。

その後、IoTの活用事例として、三菱電機株式会社受配電システム製作所生産システム部生産技術課の峠 健次 氏から、同製作所でのIoT活用によるリアルタイムの工場ライン見える化と、受注から出荷までの生産情報ビッグデータの基盤を構築することにより、改善サイクルを高速化した事例を紹介いただきました。

第2部では、IoTシステムを構築するために、用途に応じた最適な通信技術を選択する必要があり、広範囲のエリアをカバーし、低コスト・低消費電力で通信ができるLPWA(Low Power Wide Area)がIoTに適した無線通信技術のひとつであることや、電波を適正に利用するための電波法などの関連法制度、IoTシステムのセキュリティ対策などについて説明がありました。

第3部では、IoT導入に向けたビジネス課題を洗い出し、解決策を導くための導入手順等についてグループ討議を行い、自社の課題を各グループにおいて積極的に提示していただき、課題解決に向けた討議が活発に行われました。

四国総合通信局では、今後もICT/IoT利活用に関するセミナーを開催するなど、地域課題の解決に向けた人材育成に努めてまいります。

※「IoT機器等の電波利用システムの適正利用のためのICT人材育成事業」

今後、多様な分野・業種において膨大な数のIoT機器の利活用が見込まれる中で、多様なユーザや若者・スタートアップの電波利用に係るリテラシー向上を図ることが不可欠であることから、IoTユーザを対象とした地域毎の講習会や体験型セミナー、若者・スタートアップを対象としたハッカソン等の取組を推進し、IoT時代に必要な人材を育成することを目的とする事業。

### 「IoT入門セミナー in かがわ」の概要

- 第1部 IoTの基礎知識
  - ・IoTとは？
  - ・IoTの導入、利活用による効果
  - ・IoTの導入、利活用の例
  - ・IoTデモ機の紹介
  - ・IoTの活用事例の紹介
- 第2部 IoTの技術・関連法制度
  - ・IoTの技術
  - ・電波の有効利用
  - ・IoTのセキュリティ対策
  - ・IoT関連の標準化動向
- 第3部 IoTの活用
  - ・IoT導入の進め方
  - ・ビジネス課題設定
  - ・ワークショップ

主催：四国総合通信局、情報通信交流館(e-とぴあ・かがわ)  
共催：かがわ情報化推進協議会、四国情報通信懇談会  
後援：四国経済産業局、四国経済連合会、一般社団法人香川経済同友会、香川マルチメディアビジネスフォーラム



NTTラーニングシステムズ(株)  
常川氏の講演模様



三菱電機(株)  
峠氏の講演模様

【お問い合わせ先】

情報通信部 情報通信振興課 電話 089-936-5061